

(11) 保健体育教育研究会

会 長 宮崎 平 (西土佐小)
副会長 柿内 英紀 (西土佐中)
事務局 江口 貴之 (利岡小)

1. 研究主題

「お互いのよさを認め合い、ともに伸びる体育学習」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和元年 5月8日(水)	四万十市教育研究会 組織総会 内容：役員選出、研究主題設定、年間計画	中村南小学校	32名参加
7月31日(水)	四万十市教育研究会 夏季研修会 内容：協議・指導案検討・講話 ①協議「陸上競技(長距離走)の指導に係る課題等について」 ②指導案検討 「陸上競技(長距離走)」 ③講話「新学習指導要領の趣旨を踏まえた体育科授業改善について」 講師：栗本 健 指導主事 (高知県教育委員会 保健体育課)	中村中学校	27名参加
11月13日(水)	四万十市教育研究大会 ○研究授業 「陸上競技(長距離走)」 (中村西中学校 1年2組 25名) 授業者：倉本 英樹 教諭 講師：栗本 健 指導主事 (高知県教育委員会 保健体育科課)	安並運動公園 授業：運動場 協議：武道場	30名参加

3. 四万十市教育研究会 夏季研修会

(1) 協議「陸上競技(長距離走)の指導に係る課題等について」

- ①意欲を高めるための手立て
- ②一定のペースを保って走るための手立て
- ③個に応じた指導法の工夫

(2) 指導案検討 「陸上競技(長距離走)」

(3) 講話「新学習指導要領の趣旨を踏まえた体育科授業改善について」

講師：栗本 健 指導主事 (高知県教育委員会 保健体育課)

①改訂の基本方針

- ◆基本的な考え方
- ◆育成を目指す資質・能力の明確化
- ◆「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- ◆カリキュラム・マネジメントの推進

②主体的な学び長距離走・持久走の指導について

- ◆課題の共有
- ◆長距離走と持久走との違い
- ◆持久走の指導実践例

4. 平成31年度四万十市教育研究大会

(1) 指導案 ※別ファイルに記載

(2) 研究協議

【授業者より】

- ・グループによっては単調な声かけになってしまい、具体的な体育用語を用いての声かけにはなっていなかった。
- ・グラフ化していることで、生徒のモチベーションや取り組み方の向上にはつながっていると思う。
- ・運動強度を「脈拍+〇〇」など目安を決めていたが、数値通りにいかないところもあった。

【参観者より】

視点①「本時のねらいは達成されたか」

- ・みんなで一緒に（シンクロして）活動することの楽しさを感じられた。
- ・走っている仲間に声をかけるなど、他グループに対する声かけは見られたが、グループ内での声かけが少なかった。また、声かけはできていても、具体的な声かけにはなっていなかった。
- ・小学校では、脈拍と運動強度の関係という考え方はなかったので参考になった。
- ・ゲーム性など活動しながら楽しめる工夫を取り入れることで、より意欲的に取り組むことができたのではないかな。
- ・励ます声だけではなく、技能（走り方）などの声かけも生まれるとよかった。

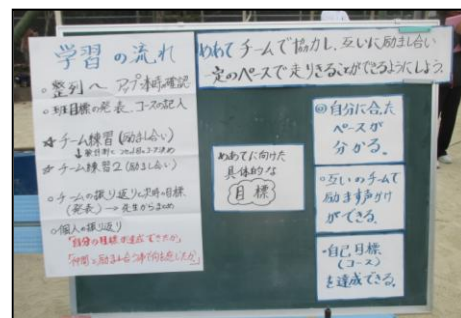
視点②「個に応じた指導の工夫」

- ・自分で走るコースを選んで取り組むという方法が、個に応じた指導となっていた。
- ・脈拍やラップタイムをとることで、一人ひとりが自己分析することができ、自己目標を立てることにつながられたと思う。
- ・走っている途中でも、コース変更ができるようにすればより個に応じた指導につながったのではないかな。
- ・一番内側を走っていた運動が苦手な生徒が、とてもいい表情で活動していたのが、印象的だった。

5. 今年度の成果と課題

今年度は、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「主体的・対話的な深い学び」をどのように体育科授業に取り入れていくかを学ぶことができた。また、参加者間で「長距離走の指導における課題」について意見交流をすることで、小学校ならではの「ゲーム性を取り入れた取組」や中学校の「専門的知識を取り入れた取組」など、これからの実践に向けて参考となるような意見を交流することができた。研究授業では、「仲間と高め合う活動の工夫」や「個に応じた指導方法の工夫」について考えることができた。

課題として、各領域の指導において新学習指導要領の趣旨を踏まえた指導の研究を深めていく必要がある。市教研の本部会としては、今後も授業実践から学ぶことができる場を設定していきたい。



～授業の板書～



～活動の様子～